

江古田小校長室便り 「温故創新」

H29（2017）・0731 NO18

校長 伊波喜一

紺碧の 空から照らす 陽に負けじ 波に揺られて 浮かんで沈んで
明日からいよいよ8月。終戦の月です。子ども達は学校がないもの、塾やスポーツ、あるいは外遊びと忙しい毎日を送っていることでしょう。この期間を使って、普段は取り組めないことに挑戦していくことを願っています。さて、筆者の小学校時代で思い出すのは、夏の水泳指導です。当時、学校にはプールがありませんでした。それで、日常の水泳指導は近くの海岸まで行き、泳ぎました。プールと違い、海は水が塩辛く、目がしょぼしょぼします。おまけに波があるので、まっすぐに泳いでいるつもりでも、斜めに流されてしまいます。それでも、夢中になって泳ぎました。日差しが強く、2回は確実に皮がむけます。3回目になると、肌にも抵抗力が出てくるのでしょうか。文字通り、真っ黒に日焼けしました。水泳のない日は、父と市営プールに行って泳ぎました。父も仕事帰りで大変だったろうと思いますが、クロールで25m泳げた時の喜びははっきりと覚えています。健康な体は一生の宝です。努力が実を結ぶことを実感できたことは、大きな自信となって返ってきています。